

報道関係各位



話題の魔法のような体感型アートが帰ってくる！

公益財団法人佐川美術館(所在地:滋賀県守山市)では、毎年恒例となりました「さがわきっずみゅーじあむ」の展示イベントとして「魔法の美術館Ⅱ」を開催いたします。2014年の冬に開催し、大きな反響をよんだ「魔法の美術館」が、この冬、パワーアップして佐川美術館に帰ってきます。

「見て」「触れて」「楽しみながら」「学べる」をキーワードに、光とアートが融合した体感型の展示イベントになります。展示作品は、日本を代表するアーティスト8組による14作品の体感型アート作品で、直感的に楽しめる魔法のようなアートばかりです。子どもから大人まで世代を超えた全ての参加者が、作品に触れながら美術の楽しさを知ることができるはず。是非、この冬は“魔法のようなアート”の世界を体感して、時代に呼応した視覚と知覚を高めていただけたら幸いです。

展示イベント実施概要

- ◆名称：「さがわきっずみゅーじあむ展示イベント 魔法の美術館Ⅱ」
- ◆会期：2017年12月9日[土]～2018年2月12日[月・祝]
- ◆会場：佐川美術館 〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891 TEL:077-585-7800 FAX:077-585-7810
- ◆開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、12/31、1/1、1/9～1/12
- ◆入館料：一般¥1,000(¥800)／高大生¥600(¥400) ()内は20名以上の割引料金
中学生以下は無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1名のみ)無料
- ◆主催：公益財団法人佐川美術館、京都新聞
- ◆後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会、BBCびわ湖放送
- ◆企画協力：ステップ・イースト ◆協力：SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

展示プログラム (アーティスト五十音順)

《音めがね》緒方寿人(Takram) (おがた ひさと)

© hisato OGATA (Takram)

壁には白く光る四角いパネルがあり、そこから色々な音楽が流れています。壁に掛かっている「音めがね」でパネルを覗いてみると映像が現れて、音の正体を教えてくれます。

《なげる、あてる、ひろがる》スイッチ

© Switch 協力：名古屋造形大学デジタルメディアデザインコース

壁にボールを投げると当たった場所に音や映像が現れます。投げる度に映像の色や内容が変わるので、参加者は自然と遊び方を工夫するようになります。



1. 《なげる、あてる、ひろがる》スイッチ

© Switch

協力：名古屋造形大学デジタルメディアデザインコース



2. 《shichihenge》田中陽

© you TANAKA

《.hito》田中陽 (たなか よう) © you TANAKA

椅子に座る参加者の顔が、まるでピカソの絵画作品のようにキュビズム的なアート表現に変換されます。目の前に映し出される表情は、参加者の動きに合わせて変化していきます。

《shichihenge》田中陽 © you TANAKA

作品の前に立つと、参加者が様々な姿に変わり、壁一面に大きく映し出されます。その映像は刻一刻とカラフルに七変化していきます。

《Cosmic Square》坪倉輝明 (つぼくら てるあき)

© teruaki TSUBOKURA

「宇宙・重力」をテーマにした作品です。床には地上、水中、月面、宇宙などシーンが映し出され、その変化に合わせて重力も変わります。その上を歩くと、足跡がついて色とりどりのオブジェが転がるなど、異なる次元とともに重力の違いを楽しむことができます。



3. 《Cosmic Square》坪倉輝明

© teruaki TSUBOKURA

[国内初展示作品]

《Vertexceed》坪倉輝明 © teruaki TSUBOKURA

壁にある三角形の各面に手をかざすと、参加者の動きに反応してその壁にマッピング（投影）される映像が次々と変化していきます。

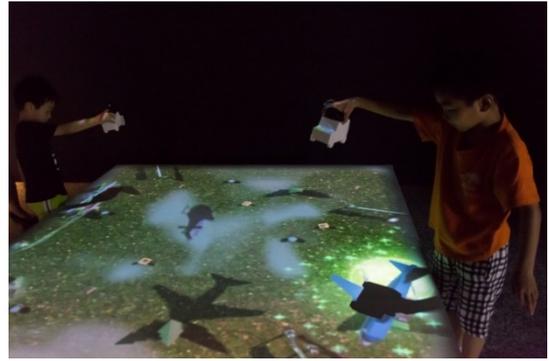
《不可視美術館》坪倉輝明 © teruaki TSUBOKURA

暗闇の中、彫刻や絵画のない展示台と額縁があります。一見すると何もない空間に懐中電灯を当てると、作品のシルエットが現れます。「作品」を見る、という従来の鑑賞体験を覆すありかたは、新しい表現の1つだと言えるでしょう。現実と仮想現実のあいまいな境界をお楽しみいただけます。

さがわきつづみゅーじあむ展示イベント 魔法の美術館Ⅱ

《空想ジオラマ》坪倉輝明 © teruaki TSUBOKURA

車のオブジェを手に取りテーブル上で走らせると、その後には道が現れ、周りには家や街灯が立ち並びます。空中を走らせると飛行機やヘリコプターに変わり、煙が立ちのぼります。また連結した車は電車へと変化し、線路が出来ていきます。「くるまあそび」の中で、子どもの豊かな想像力によって創られる空想の世界をテーブル上に可視化した作品です。



4. 《空想ジオラマ》坪倉輝明

© teruaki TSUBOKURA

[国内初展示作品]

《黒い魚たち》藤本直明 (ふじもと なおあき)

© naoaki FUJIMOTO

床に映し出された水面で泳ぐ黒い魚たち。鑑賞者がその上を歩くと、動きに合わせて水面に波が生じます。その波に呼応するように、泳いでいた魚たちが近寄ってきます。



5. 《黒い魚たち》藤本直明

© naoaki FUJIMOTO

[国内初展示作品]

《衝突と散乱》藤本直明 © naoaki FUJIMOTO

床に幾何学形の無数の破片が散乱しています。何種類もの色と形があり、カテゴリごとに塊としての動きを見せます。参加者が踏むと反応し、遠ざかるように素早く動きます。

《ensemble silhouette》宮本昌典 / 小岩原直志

(みやもと まさのり / こいわはら ただし)

© masanori MIYAMOTO / tadashi KOIWAHARA

回転する五線譜に星のシルエットを置くと、様々なメロディが流れだします。思い思いの場所に星をおいて、新しいアンサンブル(合奏)を奏でてみましょう。偶然出会う他の参加者と、オリジナルの音楽を通してつながっていくことが出来ます。

《portrait》宮本昌典 / 田中陽

© masanori MIYAMOTO / you TANAKA

椅子に腰掛けると、目の前にある額縁に参加者の肖像画が現れます。それは自動的に顔の向きや表情を変え、リアルタイムで参加者と異なる動きをされるといった、奇妙な光景を生み出します。



6. 《portrait》宮本昌典/田中陽

© masanori MIYAMOTO/you TANAKA

《Tea for Angel》森脇裕之 (もりわき ひろゆき)

© hiroyuki MORIWAKI

まるいテーブルに手をかざすと、黒い影の代わりにエメラルド色に輝くシルエットが浮かび上がります。

《光の波紋》森脇裕之 © hiroyuki MORIWAKI

規則的に壁に取り付けられた無数の基板。手を触れるとセンサーが反応し、その場所を中心に波紋のように連鎖して光り出します。

■前回からパワーアップしたラインナップ！

「魔法の美術館Ⅱ」では、前回(2014年度開催)とは全作品異なる新しいラインナップで紹介しします。また、国内初展示作品が3点加わり、パワーアップした“魔法のようなアート”をさらに楽しんでいただくことができます。是非このチャンスを逃さないようにしてくださいね。



7. 《ensemble silhouette》 宮本昌典/小岩原直志
© masanori MIYAMOTO/tadashi KOIWAHARA

■展示作品はインタラクティブな体感型アート！

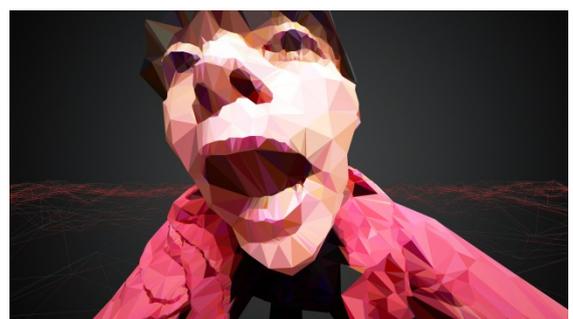


8. 《Vertexceed》 坪倉輝明
© teruaki TSUBOKURA

「魔法の美術館Ⅱ」の作品は、鑑賞者のアクションに応じて変化する、インタラクティブ(双方向性のある)な未来のアートです。ただ見るだけではなく、アクティブに関わり遊ぶことで、より作品の美しさや面白さを楽しむことができます。鑑賞者の動きに敏感に反応し、その五感に訴える未来体感型のアートです。現代に呼応した新しい視覚と知覚の体験は、老若男女問わず、世代を超えて楽しむことができます。

■全ての作品は写真撮影 OK！

会場内では写真撮影が出来ます。フォトジェニックな空間で、不思議な写真を撮影すると、より体感型アートを堪能することができます。ご来館の記念に、思い思いの写真や映像を撮ってSNSで共有しませんか？



9. 《.hito》 田中陽
© you TANAKA

イベント紹介

ワークショップ【事前予約制】

松村泰三さん考案 光の箱をつくらう！

■開催日：12月16日(土)

■時間：①10:30～ ②14:00～(所要時間:120分)

■定員：各20名 ■料金：800円 ■対象：小学生以上

■申込：11月14日(火)9:30から佐川美術館HP申込フォーム、またはFAXにて受付開始

●広報用写真について

本プレスリリース中に掲載している画像データをご用意しております。

画像データをご希望の方は、同封の作品画像使用申込書（プレゼント用招待券申込付）に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。ホームページから画像申請も受け付けております。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会以外でのご使用はお断りしておりますので、宜しくお願い申し上げます。また、申込書に記載しておりますキャプションの表記もお願い致します。

●プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効のご招待券を10枚までご提供させていただきます。

ご希望の方は同封の作品画像使用申込書（プレゼント用招待券申込付）に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

◆交通のご案内：**お車ご利用の場合**

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由（約 30 分）
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由（約 30 分）
- 名神京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由（約 30 分）

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス「佐川美術館」下車（約 35 分）
- JR 湖西線堅田駅から路線バス「佐川美術館」下車（約 15 分）

◆連絡先◆

公益財団法人佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

企画担当学芸員：馬場 まどか（ばば まどか）

m_baba004@sagawa-artmuseum.or.jp

